

2016年7月21日

## 生活環境に応じた骨格の変化を貴重な標本とともに紹介します スケルトン ～骨格からみる海洋生物の多様性～ 第2弾

京急グループの株式会社京急油壺マリンパーク（博物館相当施設：神奈川県三浦市，社長：草川 晴夫）では，来る7月23日（土）より、海から陸へ、陸から海へ移った生物たちの変化を骨格から読み解く特別展「スケルトン～骨格からみる海洋生物の多様性～ 第2弾」を開催します。

今回の特別展では、水の中から陸の上へ移った、あるいは逆に陸から海へと戻った生物たちについて、それぞれの生活環境に適応するために変化した体の構造や機能を、“骨格”に着目して紹介します。

例えばウミガメの祖先は、進化の過程で4度海と陸を行き来しているとされ、それは化石などに残る骨格を見ることで手がかりが得られます。現在わかっている中で最も古いカメの祖先は背中に甲羅は無く、腹側の甲羅のみ発達していました。これは、腹側から襲われる可能性の高い海中で生活していたことを示すといわれています。その後、一部のものが陸に上がり、背中から外敵に襲われないよう背甲がつくられ、これが現在のリクガメの祖先とされます。陸上で甲羅を獲得したものの中から、再び海に戻った仲間が、現在のウミガメになったといわれています。

このような、生活環境に応じた骨格の変化や特徴を、骨だけを染色した透明標本や迫力ある全身骨格標本などを用いて詳しく解説します。

詳細は別紙のとおりです。



写真：展示するウミガメの全身骨格標本

別紙

特別展「スケルトン～骨格からみる海洋生物の多様性～」について

開催期間	第1弾 2016年4月23日(土)～ 第2弾 2016年7月23日(土)～ ※終了時期未定
展示場所	京急油壺マリンパーク内 水族館”魚の国”1階 第2特別展会場
展示概要	多種多様な海洋生物の“骨格”に注目し、骨格標本や透明標本などを中心に展示します。生物たちが持つ特異な能力・特徴を支える骨格の役割など、「骨格を見なければわからないこと」について詳しく解説します。
展示内容	トド・オガワコマッコウ・バンドウイルカ全身骨格標本 カエル・オタマジャクシ透明標本 アオウミガメ・カモ・ペンギン骨格標本など ※展示内容は生物の体調などにより変更となる場合がございます。

京急油壺マリンパークについて

名称	株式会社京急油壺マリンパーク
所在地	神奈川県三浦市三崎町小網代1082
代表者	取締役社長 草川 晴夫
営業開始	1968年4月27日
営業時間	9:00～17:00
入園料金	大人：1,700円 中学生：1,300円 小学生：850円 幼児(3歳以上)：450円 ペット：500円 (ペット入園にはお手続きが必要です)
アクセス	車：横浜横須賀道路 衣笠I.Cから三浦縦貫道路経由(10km) 電車：京急線・品川駅より三崎口駅(約65分/快特) 三崎口駅より油壺行きバス(約15分) 終点下車徒歩5分

※本件に関する紙面掲載および放送時は、当社名の告知をお願いします。

お客様からのお問合せ先 TEL 046-880-0152 (営業時間内)

以上